

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【公表番号】特表2002-529821(P2002-529821A)  
 【公表日】平成14年9月10日(2002.9.10)  
 【出願番号】特願2000-580135(P2000-580135)  
 【国際特許分類】

**G 0 6 Q 10/00 (2006.01)**

**G 0 6 N 5/04 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 6 2 A

G 0 6 N 5/04 5 5 0 Q

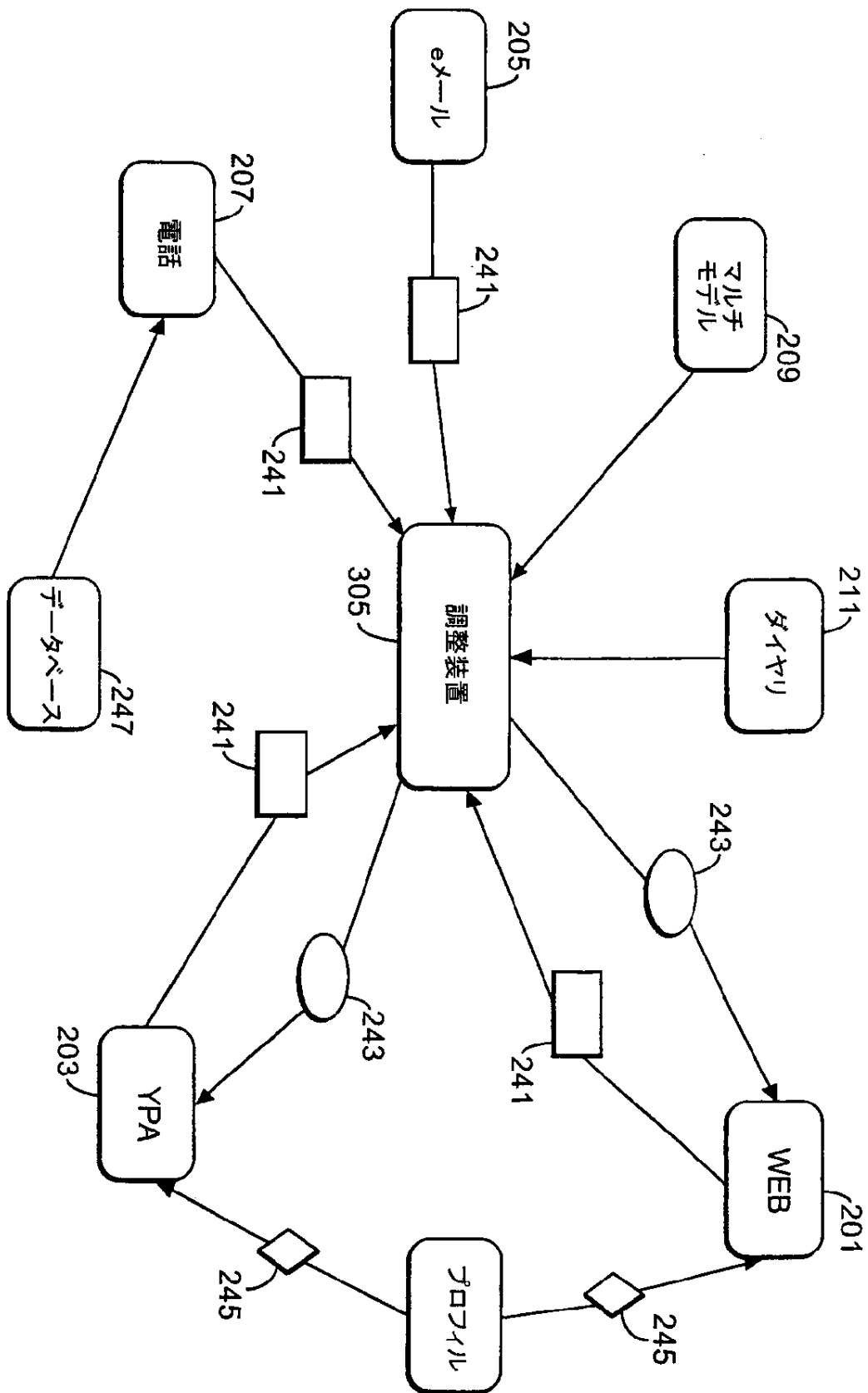
【手続補正書】  
 【提出日】平成18年10月31日(2006.10.31)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0029  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0029】

上述から分かるように、コーディネータ305はシステム219の中央制御装置ではない。コーディネータ305はエージェント201、203、205、207、209、211がコーディネータ305から送られたタスクの実行309を行うことを要求できるが、エージェントはこれらのタスクを実行できない。エージェントはゼウスオープンメッセージングアーキテクチャ(Zeus Open Messaging Architecture)を使用して互いに通信し、エージェント201、203、205、207、209、211はほぼユーザの操作のもとで動作するが、上述のように、ユーザへの情報通知は図2に示したように四角形部分241によってコーディネータ305ヘルート設定される。図2において、楕円形部分243はコーディネータ305からエージェントへの要求を表わし、タスクの実行309を行う情報に対応する。ダイヤモンド形部分245は、ユーザプロフィールデータを含むデータベース247から抽出されたユーザの選択または関心の記録を表わす。したがってダイヤモンド形部分245にリンクされたエージェント201、203はウェブおよびイエローページアシスタントであってもよい。

【手続補正2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0094  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0094】

ダイヤリアシスタント211がユニックスプラットフォーム上で実行されるとき、次のUnix(登録商標)命令をキーボードで入力して、アシスタント211を呼出することができる。

【手続補正3】  
 【補正対象書類名】図面  
 【補正対象項目名】図2  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】



【手続補正 4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 4】

